

科目名称：	日本事情IV	
担当者名：	王玉	
区分	授業形態	単位数
留学生別科に関する科目	講義	2
授業の目的・テーマ		
この授業は、初めて来日する留学生に日本社会や日本文化、生活習慣などの基礎知識を習得させ、日本での生活と学習がスムーズに進むよう支援することを目的としている。		
授業の達成目標・到達目標		
1) 日本の生活様式を理解できた。 2) 日本文化を理解できた。 3) 日本での学習に必要な知識（制度、施設、習慣など）を身に付けた。 4) 日常よく使われる挨拶語・その応答が基本的にできた。 5) 簡単な新聞記事や通達文章などの読解ができた。		

基礎教育科目	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し他者との信頼関係を築いていくことができる。	○
DP(2)	様々な課題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化する社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。	
DP(3)	専門的な知識や技能を修得し、それぞれの分野において、これらを柔軟に活用していくことができる。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
全学DP(1)			80	20	100
全学DP(2)					0
全学DP(3)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》
備考		

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
日本に留学にきて、日本文化、日本人の考え方と生活習慣が理解できる	日本文化、日本人の考え方と生活習慣に対する理解が深まっている	日本文化、日本人の考え方と生活習慣に対する理解がだいたいできている	日本文化、日本人の考え方と生活習慣がある程度理解できる	日本文化、日本人の考え方と生活習慣への理解はしない
日本語の読み解く能力が半年前より上達する	日本語の読み解く能力がだいぶ上達している	日本語の読み解く能力ある程度上達している	日本語の読み解く能力がちょっとだけ上達した。	日本語の読み解く能力が上達していない。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 実りの秋と祭り	石川県の祭り3・読解1(同上)読解2(同上)	60分
第2回 日本の食文化/ 緊急対策についてⅡ	秋の食・読解1(同上)読解2(同上)	60分
第3回 建前・本音など	時事読解・スポーツ・読解1(同上)読解2(同上)	60分
第4回 日本人のライフスタイル(3)	レジャー・読解1(同上)読解2(同上)	60分
第5回 伝統行事(2) / 「日本の心」(3)	文化的なのイベントなど・読解1(同上)読解2(同上)	60分
第6回 神と祭りと日本人Ⅱ	動物・時事読解・読解1(同上)読解2(同上)	60分
第7回 日本の主な観光地とその歴史文化(2)	日本の世界遺産について・読解1(同上)読解2(同上)	60分
第8回 日本社会のシステムⅡ	日本の自治体・読解1(同上)読解2(同上)	60分
第9回 グループワーク：留学生からみた北陸・金沢	北陸地域・金沢・歴史文化について	60分
第10回 マナーとタブー(2) (ホームステイに向けて)	ホームステイのマナーについて・読解1(同上)読解2(同上)	60分
第11回 日本の主な観光地とその歴史文化(3) (電子黒板使用)	日本の都会と農村・読解1(同上)読解2(同上)	60分
第12回 伝統行事(3) / 「日本の心」(4)	正月・読解1(同上)読解2(同上)	60分
第13回 日本人のライフスタイル(4)	日本の学校事情1・読解1(同上)読解2(同上)	60分
第14回 昔話・伝説と動物について	日本の童話・読解1(同上)読解2(同上)	60分
第15回 グループワークで来日してきた見聞を日本語でまとめる。・レポート	日本人学生とのコミュニケーションでの心得についてレポートにまとめること	60分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。  
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。

#### 成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。  
授業への積極的関与(20%)・課題レポート(80%)を合せて総合評価します。

#### 課題に対するフィードバック

回収した課題を点検・添削し、次回の授業で個人に返却し、共通した問題点を説明したり、全体の分析をしたりして理解を深めさせる。

#### 教科書・参考書

毎回プリントを配付する。  
準備学習時間：60分